

わたしの夢 | <第65回> | 舞川小 |

地域のニュースや 話題を伝える 新聞記者になりたい



DREAMS COME TRUE

夢は見るものじゃなく、叶えるもの

小野寺淳志さん

おのでら・あつし
舞川小6年

僕は1月まで児童会長を務めていました。舞川小はあいさつ運動や地元^{ししおど}に伝わる鹿子躍りと鶏舞の伝承に取り組んでいます。好きな科目は理科と社会。理科は実験で物質の変化を見るのが好きです。社会は歴史が好きで、昨年は大河ドラマ「真田丸」を毎週見っていました。将来の夢は新聞記者。昨年、社会の授業で地元の新聞社の印刷工場を見学しました。編集者の話を聞いて、新聞記者はたくさんの人に情報を伝えられる素晴らしい職業だと思いました。もっといろいろなことを勉強して、地域のニュースや話題を伝える記者を目指したいです。

編集後記

▼今年の水かけ祭りは、裸男としてではなく撮影に。県指定無形民俗文化財の答申の翌日とあって、大変な盛り上がり。いつもより水の量も多い感じ。おかげで撮影していた私は予想通りずぶぬれに。▼今年の春の全国大会に出場する児童生徒の皆さんは、例年以上に大勢。それぞれの競技で一閃旋風を巻き起こしてほしいと思います。一閃の代表として一丸となつて一生懸命に一番を目指してください。(伊東吉光)

▼過熱する返礼品競争が新聞やテレビをにぎわせているふるさと納税。寄付金に占めるいわゆる返礼率への上限設定を検討するなど、政府が規制を強める動きも。今後目が離せない話題です。(吉住優)

▼2月は「逃げる月」、3月は「去る月」と言われるほど時間がたつのが早い月です。年が明けたと思ったら、あっという間に3月。昨年から目標にしていた「月に1冊、ゆっくり本を読む」。忙しいからできないではなく、心にゆとりを持たつたための時間を意識して持つようにしたいです。(荻莊瑤子)

